

news 88

第21号

2002年8月

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)
FAX 03-3866-2222 <http://www.prima-gakki.co.jp/>

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

「ウンディ・リ」が 生まれたヒ・ミ・ツ

いさやまたかよし
音楽評論家 諫山 隆美

今年6月、ロシアのモスクワで第12回チャイコフスキー国際コンクールが開催され、ピアノ部門の全演奏を視察してきた。その会場には若いピアニストや音楽愛好者が大勢詰めかけていたが、ピアノ指導者の鑑賞も数多い。中でも、2000年ショパンコンクールの覇者、ウンディ・リの中国での指導者、ダン・ツァオイ教授がとても印象に残っている。ダン教授は英語が苦手であらうが、2次予選と熱心に会場入りして、そのすべての演奏を熱心に聴き入っておられた。通常の指導者ならばとりわけ優秀な参加者に目をつけ、追っかけて聴くところを、ダン教授は連日8時間を超える若者の演奏すべてを、もれなく聴いていらした。

そのチャイコフスキーコンクールの演奏を聴いて、先日ダン教授の愛弟子のウンディ・リのリサイタルを聴いて、ピンと来るものがあつた。ショパンコンクールでのウンディの形式面が弱い欠点、それを補うような演奏をチャイコフスキーコンクールで披露していた現在のウンディの同門下生、中国で学んで得た優れたテクニックなどなど、ダン教授がコンクールに求めていたのは結果の順位ではなく、様々な指導者の能力や特徴、様々な民族が求める音楽や得意とする音楽の違いなどなど、相当に幅広いものであつたのだろう。これまで何度も国際コンクールの視察をしたという教授は、コンクールの審査を大きく超えたところを聴き取り、吸収し、「世界一」を輩出するほどの指導力へと磨きをかけていったに違いない。語学力に多少難があつたとしても国際性が集約する場所で学ぶことができるのは音楽の大きな利点であり、欧米の1ヶ国だけに留学したのでは不十分な点を国際コンクールが補うという、鋭い着目が世界を制したと言えるのであろう。

ダン教授を、チャイコフスキーコンクールの本選ではお見かけする日はなかった。そうこうしているうちに、日本の上原彩子が第1位を獲得。東洋人が西洋音楽を学ぶハンディキャップは、努力さえすれば全くないと言って良いだろう。その大部分は、音楽を聴き取り吸収する力を鍛えることにあるのではないかと感じている。

プロフィール

音楽評論家。現在「ムジカノヴァ」、「ショパン」、「音楽現代」、「モストリ」等に多数執筆中。2000年のショパンコンクールに引き続き、この6月はモスクワのチャイコフスキー国際コンクールのピアノ部門の全演奏評論をwebで公開し、多方面から注目を集めた。webでは翌日に公開する演奏会評「昨日のピアノ」も好評を得て（<http://www.piano.or.jp/review/isa/>）、計月15ページの評論を、雑誌にwebに執筆中。

今月のNEWSな 楽譜 & グッズ

★音楽之友社

●やさしい名曲集 ピアノでオーケストラ
バッハ〜シュトラウス

保田正編 菊倍96頁 1,300円＋税 8月中旬 発売予定
有名なクラシック曲を管弦楽、オペラ、声楽等あらゆるジャンルから時代別に集め、バイエルからブルグミュラー程度のレベルで弾けるようにやさしくアレンジした。

●やさしい名曲集 ピアノでオーケストラ
チャイコフスキー〜ガーシュウィン

保田正 菊倍96頁 1,300円＋税 8月中旬 発売予定
多彩なジャンルから時代別に集めた本曲集はバイエルからブルグミュラー程度のレベルで弾けるので誰しも美しいアリアや華やかなバレエの世界に浸る事が出来る。

★ドレミ楽譜出版社

●こどもポップ・ピアノ

小形 真子監修 菊倍 72頁 1,200円＋税 8月上旬予定
日本コロムビアより発売される同タイトルのアルバムと完全タイアップした楽譜集です。レッスンに役立つアドバイスも曲ごとに掲載しました。楽しいポップな曲が満載！

●発表会で使えるベスト・ミュージック

編集部編 菊倍 80頁 1,300円＋税 8月下旬予定
好評の発表会で使える〜シリーズに、ジャンルにこだわらず「発表会でこの曲が弾いてみたい」という要望の多かった曲を集めた曲集が加わりました。

●発表会で使える映画&洋楽ヒット曲集

編集部編 菊倍 80頁 ★1,400円＋税 8月下旬予定
誰もが知っている映画音楽や洋楽のヒットナンバーを発表会で素敵に弾ける豪華なアレンジにして掲載しました。大人から子どもまで楽しめる曲集です。

★全音楽譜出版社

●ギロック ピアノメソード
「ピアノ・オール・ザ・ウェイ」レベル1A
楽譜を読む前に…

菊倍判 48頁 1,000円＋税 安田 裕子 訳・解説
ウィリアムギロックの編んだ全部の調で学ぶピアノメソードです。全く楽譜の読めない導入から初級終了までをレベル1A1B, 2, 3, 4の5段階で進める事が出来ます。

●ギロック ピアノメソード
「ピアノ・オール・ザ・ウェイ」レベル1B
はじめての楽譜と鍵盤

菊倍判 48頁 1,000円＋税 安田 裕子 訳・解説
レベル1Bでは音符を読み、鍵盤の位置を理解してピアノが弾けるように編集されています。

★カワイ出版

●ドリマトーンメソード3 <改訂版> 上級ステップ1
カワイ音楽教室編 菊倍判 56頁 1,600円＋税

今春よりカワイ音楽教室ポピュラーコースのシステムが1部改訂されました。それに伴い電子オルガン愛好者に親しまれているドリマトーンメソード全7巻の内、1〜3巻も改訂することになりました。4巻意向は既刊本をそのまま使用出来ます。

★春秋社

●ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ
園田高弘校訂版 第5回配本分

第1番	ヘ短調 作品2-1	1,200円
第2番	イ長調 作品2-2	1,200円
第3番	ハ長調 作品2-3	1,400円
第12番	変イ長調 作品26「葬送」	1,200円
第13番	変ホ長調 作品27-1「幻想風」	1,200円

お待たせしました！多数お問い合わせを頂いた、初期作品の登場です。今回刊行の1番から3番もピアノ学習者の殆どの生徒が練習するベートーヴェンソナタの必修曲で、まず最初に弾く曲です。

★ショパン

●音楽万歳 〜働いて働いて、そして働いた〜

福田 靖子著

A5判上製 450ページ
定価/2,520円（本体2400円＋税）

音楽への愛情と教育への熱情、そして現状と未来への鋭い展望と洞察。社団法人全日本ピアノ指導者協会の創立者である著者が、30年間にわたって書き綴った思いを集成。すべての音楽関係者、ピアノ指導に携わる方々の必読書です。



ピアノ指導の 現場から



♪ミュージックベルを

ピアノ教室に取り入れてレッスンを
リニューアルしませんか？♪

今、ピアノ教室は生徒達の多様なニーズに対応する柔軟性が求められています。今までにない新しいレッスンアイデアを取り入れ、ピアノだけのレッスンからもっと広がりのあるレッスンにと考えてみなければなりません。音楽データやコンピュータを活用する事も考えられる現在ですが、教材の購入やそれを完全にマスターするには多くの労力と時間が必要になってきます。

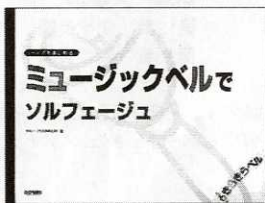


ふじの じゅんじ
藤沼 順子

もっと簡単にだれでも出来るミュージックベルをレッスンの中に取り入れてみませんか。

ミュージックベルはどの音でも大きさ重さが同じで、小さな子どもでも鳴らすことができます。私たちはこのミュージックベルで「音符を読むこと」「リズムを感じること」「コードについて」など音楽の基礎であるソルフェージュを簡単に楽しく学べるように「ミュージックベルでソルフェージュ」の本を作りました。ベルは中央のド・Cから高いド・Cまでの8本だけを使いますので一人でも演奏することができます。レッスン時間は5分程度で効果的に行なえます。そして、ベルを鳴らすのが上手になったらみんなでベルアンサンブルを楽しんでください。子どもたちの大好きなアニメの曲やクリスマス曲を6曲入れました。

虹色のベルやキラキラかがやくベルがお部屋に並ぶと、お教室が明るくなってレッスンに通ってくるのがきっと楽しくなることでしょう。



定価(本体1200+税)
ドレミ音楽出版社刊

プロフィール

洗足学園大学音楽学部ピアノ科卒。1987年ピアノ教師の集まりグループCOMODOを結成。研究会、教本調査、ミュージックベルを取り入れたボランティア出前コンサートなどを行っている。'94ヤマハ懸賞論文「これからのピアノレッスン」で優秀賞受賞。'98'99「ミュージカノーヴァ」にて連載、「00同誌の「ハンドベル」特集で「ミュージックベルがこだまする」のタイトルで執筆。日本ミュージックベル協会認定講師。



～連載～ ピアノレッスンの今後



♪♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

先日、こんなことがありました。コツコツ積み上げることが苦手な小2のS子ちゃん。でもピアノのレッスンに通ってくることは大好き。「私、先生の所毎日きた～いいでしょ？」と教師冥利につける申し出に思わず、うれしそうな、でも思うように上達しないS子ちゃんのレッスンの多いに悩む教師としては複雑な思いでした。小さい頃から、色々な習い事(塾)に通い、現在も週5日はどっぴり埋まっている毎日でした。以前の彼女はそんな自分を楽しんでいる様子で、レッスンでも頑張っている自分のことを自慢げに話していました。「へえ～、すごいでしょ～」「ウン、だっって楽しいんだもん！」

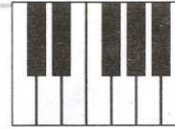
こんな会話があったのですが、近頃のS子ちゃんは元気がありません。以前はあんなに自慢げに話していた習い事のことでもあまり話してくれません。それどころか、ピアノの練習ができない言い訳を、それらの習い事のせいにするようになったのです。何事もうまくいかないのは・・・のせい・・・このような考え方に傾きだしたS子ちゃん。これはたいへん危険な状態です。そんな様子を何度かお母様にはお伝えしていたのですが、一向にS子ちゃんの様子は変わりません。週に一度しか会えないのですが、彼女の心の痛みがだんだん深刻になっているのが分かります。そこで、思い切ってお話していただくことにしました。お父様もこちらの真剣な思いが通じたのか、忙しい中お二人で教室においてくださいました。今までのこと、こちらが感じたこと、S子ちゃんにとってなにが大切か、そして何が幸せなのか・・・そのために今何が必要か・・・長い時間かけて3人で腹を割って話することができました。結果は「S子ちゃんの気持ちを大切に、そして周りの大人たちはそれを応援しましょう。」ということになりました。次の週、レッスンのドアを開けて入ってきたS子ちゃんの晴れ晴れとした笑顔にお家でその親の話し合いの様子を想像できました。「先生！私ね、ピアノ大好きだからずっと続けるんだ～！練習もするからね！他のおけいこはほんとにやりたくなくなったらやれば～って。」やさしくて、感受性の強いS子ちゃんは、ご両親の希望や期待に答えようと、勧められるがままに今まで色々な習い事を頑張ってきたのです。でもそんなにも起用でないS子ちゃんはそれらに全て答えられなくなってきた自分に苦しんでいたのです。子供たちは少しづつ自分の意思がでてきます。思いや夢や希望が大切です。そんな純粋な心を大切に育ててあげたいですね。

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

- 魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」講師：岩瀬洋子
今「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。
【東京】[日時] 9/6, 10/4, 11/8, 12/6 (全て金曜日) 9:45～12:00
[会場] 東京芸術劇場第5会議室(池袋駅西口徒歩3分)
【熊谷】[日時] 9/13, 9/11 10:00～12:00
[会場] 谷田楽器本店5Fホール(0485-21-5721担当:前野//草川)
【姫路】[教師にとって当たり前・・・が導入期の盲点!?!]
[日時] 9/26(木) 10:00～12:00
[会場] 文化堂ホール5F (0792-38-4825 担当:高橋)
- 「アルフレッドレベル別講座」講師：田村智子
[日時] 9:45～12:00 9/13(基礎コース4) 10/18(基礎コース5) 11/15(基礎コース6) 12/13(応用編) [会場] 池袋芸術劇場第7会議室
- 生徒の環境を踏まえ実践に即した「ピアノ指導法」
《まさかの怖～い落とし穴基礎編》9/3・10/1・11/5
[会場] 沼津すみや 時間10:30～12:30
[問合せ・申込み] ミュージックキー
Tel/Fax 0559-89-3900 (担当:植松)



マエストロの 観 点



“ジョリヴェの 打楽器協奏曲”

小田野 宏之

(おだのひろゆき 指揮者)



協奏曲の中でも打楽器協奏曲は珍しい部類でしょう。マリimba協奏曲やティンパニ協奏曲と違い、この曲はオーケストラの前にまるで打楽器の展示会のように左右10m以上に渡って各種打楽器が並びます。指揮者はオーケストラからもソリストからも良く見えるように、さらにその手前に立つのです。

この曲の演奏はかなり難しいのです。オーケストラはまず楽譜を音にすること自体が難しく、音程やリズムを正確にとることに奏者はものすごく緊張を強いられます。しかももっと難しいのは、お互いの音が聞こえなくなること。指揮者も弦楽器奏者も、至近距離でティンパニやシンバルなどが炸裂すると、その衝撃で耳が飽和してしまい本当に何も聞こえなくなるのです。弦楽器と管楽器とのアンサンブルなど不可能に陥ります。そんな時に唯一頼れるのは指揮棒のビート。奏者はいつも以上に指揮棒の刻むビートにびびり合わせて音を出さなくてはなりません。(ちなみに普段はオーケストラは自分たちのタイミングを持っており、指揮棒への合わせ方も微妙に異なるのです。)

指揮者も奏者も、耳が聞こえない状態で視覚のみに頼って音楽を演奏するということがほど辛く苦しいことはありません。また、オーケストラの演奏内容を把握し、ソロとのバランスを音楽的にも音響的にも上手に作るという指揮者にとっての基本的な作業ができないのも辛いものです。

それでもこのジョリヴェの協奏曲は不思議な魅力を持っており、ソリストが思いきり自分を表現し、オーケストラがそれに応えて一体感のある演奏ができた時、私たちはあの特別な苦勞を忘れるだけの喜びを得ることができるのです。

筆者プロフィール

東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。同大学大学院修了。
大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。
東京芸術大学非常勤講師。